

うれしいけど、そうじゃないんだ。そのために来たんじゃない。

事情は知らないけど、いつつもバカみたいに必死にベンキョして。この世に幸せな
となんて何もない、みたいな思い詰めた顔して。

それでもさ、やっぱ。今日くらいは、さ。

カタガキくんにも少しでも、ごく普通の幸せを味わってほしいんだ。

……そのくらいしか、できることがないから。

ね、今日くらいはちょっとだけ、幸せになつてみなよ、バーカ。

足音に続いて、がちやりとドアが開く。驚いた顔がそこに立っている。
さ、テンション上げてくよ。

「カタガキくんっ。やつほ。メリークリスマス！」

る。

「いやー、俺もそう思ってたけど、来たらこれだし」

「ふーん。……てかカタガキくんとか来てくない？」

なんとなく早口になった。

「あー。……まあ、わりといつも来てねーし」

それはそうなんだけどさ。もしかして、まーた倒れてたりしないよね。それとも、誰
かと一緒に……いやいやいや、それはない。それは絶対ない。ない……はず。うん。な
いね！

今日くらいは

カタガキくんはいない。ゼミもない。そして今日は12月24日、土曜日だ。なんか、
めっちゃバカみたいじゃん。

そうと決まったら、もうここに用はない。結局バッグも置かずコートも脱がずに、千
古サンタがずだ袋から電子部品をみんなにばら撒いてる隙に、そっと退散した。滞在時
間40秒。どうせあと三ヶ月で卒業だし、千古研にそこまでの忠誠心はないかなあ。

* * *

うん。そう。何はともあれ、ヤタにクリスマスプレゼントをあげないとねってことで、それが目的。百万遍ひゃくまんべんのドラッグストアで、いつものフードよりちよっとお高いやつに、奮発しておもちやもつけちゃった。前のは、もうヨレヨレだし。どうせカタガキくんのことだから、今日が何の日かも忘れてそうだもんね。だから代わりに、いい子にしてたヤタのサンタになってあげるんだ。ヤタの。それが目的。

そんで、まあ、せっかくだし？ 激混みケンタッキーは諦めてセブンでチキン二本と、あと凜屋りんやでケーキ二つと。どうせろくなもの食べてなさそうだし？ さすがにケーキ持参した人間を追い返したりはしないだろうしさ。あ、病み上がりだから栄養のつくものも必要だよ。年末年始の食糧も。んで、勢いでつい、百均でサンタ帽、買っちゃった。千古先生のこと笑えないな。どうせならはっちゃけていきましょー。

ふふ。やば。なんかちよっと楽しくなってきた。ゼミで会うよか全然いいじゃ

ん。むしろめっちゃラッキーじゃん、これって。

だってさ、やっぱ。今日くらいは、さ。

このくらいしたっていいよね。

* * *

もうすっかり日が落ちた西の空を見ると、細い三日月が懸かっていた。アパートの前で、いつもの窓をそっと確認して、カーテン越しの灯りにちよっとほっとする。底冷えする廊下で、両手にはずっしり重いビニール袋、頭にはサンタ帽。

コンコン、とノックを二回。

少し待つ。

いち早く気づいたヤタの、にゃあ、という声が聴こえて、思わず頬がにんまりと緩む。ありがと、ヤタ。こんなささやかな幸せを味わわせてくれて。でも。

今日くらいは

a

二〇二三年二月二五日 初版発行

二〇二四年一月四日 修正版発行

発行者 a

印刷所 vyllostyle

Twitter @a23324094

https://www.pixivnet/users/58324047

© a 2023

本作品は非公式の二次創作作品です。

本作品の無断改変および営利目的での複製・転載を禁じます。

え。ちょっと。マジありえない。

いないじゃん！ カタガキくん、来てないじゃん！

わざわざ土曜に研究室に来たつてのに。絶対ここにいると思ってたのに。

ていうか、何なの、この部屋。なんでサーバラックにイルミネーションついてんの!?

なんで光学実験台にオーナメントが配置されてんの!? 今日って臨時のゼミじゃなかったの?

「ほくら、みんな。ローストチキン焼けたよ」

「……千古^{せんこ}先生、お願いですから乾熱滅菌器で料理しないでください（ゴゴゴゴゴゴゴ）」

チキンの香ばしい匂いと共に、真っ赤なサンタ服に身を包んだ千古先生が奥の実験室

から登場した。似合いすぎてゐる。悪夢かな。その後ろで、徐^{シュウ}さんがいつもみたくマジギレカウントダウン中。同期の四回生や先輩達はすでに出来上がっちゃつてゐる。てかなんで転がつてゐる瓶がシャンメリーなの。

だいたいさあ、うちの研究室の人達、今日が何の日かわかつてゐるわけ？

12月24日だよ。24日。しかも、土曜の午後。

そんな日にゼミとかありえないって思つたけど、研究室でクリパはもつとありえない。どんだけみんなぼつちなわけ!?

——そう、今日はさすがに研究室に来てゐるかなつて思つたんだよね。

だつてさ、やつぱ。今日くらいは、さ。

会つて、話とかしたいじゃん。

なのに、来てない。壁の名札は裏返つたままだ。

「……てかさー、今日つてゼミじゃなかったっけ」

紙皿に割り箸で、元はケーキだったらしい何かをつついてゐる同期の一人に、聞いてみ